

【アスタリスク・オクテット】は、カウンターテナーの青木洋也とアルトの永松圭子の呼びかけによりソリストとして国内外で活動しているアーティストによって2015年に結成された八重唱のアンサンブルです。これまでJ.S. バッハのモテット全曲演奏をはじめブラームス「ジプシーの歌」、ロッシーニ「小荘厳ミサ曲」、高田三郎「水のいのち」、信長貴富「くちびるに歌を」、パブロ・エスカンデ編曲による日本の歌のほか、シャイン、シュッツ、メンデルスゾーン、武満徹の作品等を演奏してきました。その豊かな音色と繊細な表現力は聴く人を魅了しています。今回はイエス・キリストの受難と死（ハイドン）と復活（バッハ）をテーマに弦楽アンサンブルとの初共演で新たなハーモニーを追求します。



老田 裕子 ソプラノ

大阪音楽大学大学院修了。オペラ、宗教曲に多数活躍している。リサイタルの成果により神戸市文化奨励賞、兵庫県芸術文化奨励賞受賞。マラー作曲「子供の不思議な角笛」全曲演奏に対し文化庁芸術祭音楽部門新人賞を受賞。大阪国際フェスティバル2015でゼツァ指揮「ランスへの旅」リリナ役を演唱し、その美声と自由な技巧を評価された。同志社女子大学、武庫川女子大学、大阪音楽大学各非常勤講師。関西二期会会員。



青木 洋也 アルト

東京生まれ。ヴァイオリンを学ぶ傍ら、ボーイ・ソプラノとして東京少年少女合唱隊時代より活躍。東京藝術大学大学院で古楽演奏、エリザベト音楽大学大学院で宗教音楽学を学び、在学中より定期的に渡欧して研鑽を積む。宗教音楽を専門とし、J.S. バッハの《マタイ》《ヨハネ》の両受難曲や、多数のカンタータの独唱をつとめる。バッハ・コレギウム・ジャパンの主要メンバーとして国内外の公演・録音に参加している。



畑 儀文 テノール

大阪音楽大学大学院修了。1979年小林道夫氏伴奏による初リサイタル。19M.v. エグモント氏に師事。以後13年間オランダ各地でバッハ受難曲の福音史家を務める。岡原慎也氏とのシューベルト歌曲全曲演奏。日本コロムビアよりCD5種。ユーロ(株)より童謡唱歌CD2種をリリース。咲やこの花賞、兵庫県文化賞等受賞。シューベルトアンデタン音楽監督。関西フィルハーモニー合唱団コアマスター。大阪バッハ合唱団音楽監督。京都女子大学非常勤講師。



篠部 信宏 バス

大阪芸術大学大学院修了。学長賞受賞。第1回大阪国際音楽コンクール第3位。丹波の森国際音楽祭のシンボルアーティストを務める。M.v. エグモント氏に師事。パロクからロマン派に至る宗教曲のソリストとして数多くの作品で高い評価を得ている。バッハのソロはドイツ新聞紙上でも簡潔で含蓄のあるバスと絶賞される。現在シバムジカアカデミー代表、日本テレマン協会ソリスト、京都・バッハ・プリステン所属、京都女子大学非常勤講師。



釋 伸司 ヴァイオリン

京都市立芸術大学卒業。在学中よりテレマン室内管弦楽団に在団し、日本、ドイツ、フランス、イギリスほか数多くのコンサートにソリスト、コンサートマスターとして出演。サントリー音楽賞をはじめ数々の受賞に貢献。1995年に退団。現在はいづみシンフォニエッタ大阪、マイ・ハート弦楽四重奏団各メンバー、京都フィルハーモニー室内合奏団客演コンサートマスター、岡山フィルハーモニック管弦楽団首席奏者、神戸女学院大学非常勤講師。



松田 美奈子 ヴィオラ

京都市立芸術大学卒業。同大学院修了。第二回宝塚ベガ音楽コンクール室内楽部門入賞。カザルスホールヴィオラスペース公開マスタークラスで川崎雅夫氏に師事。ヴァイオリンを故東儀祐二、岸邊百百雄、久合田緑、ヴィオラを永藤照夫、山本由美子、A. シュカーニック、M. ケイティムスの各氏に師事。京都フィルハーモニー室内合奏団を経て、室内楽奏者、オーケストラ奏者として活躍中。



雨田 一孝 チェロ

堀川高校音楽科を経て、京都市立芸術大学卒業。黒沼俊夫、上村昇、林俊昭、五味尚子の各氏に師事。デュオ雨田、井上まゆみトリオ、マイ・ハート弦楽四重奏団など、ソロ、アンサンブルにおいて活動中。1994年の「雨田一孝、雨田真由美デュオリサイタル」につき青山音楽賞を受賞。現在、京都市立芸術大学、同志社女子大学、京都市立京都堀川音楽高等学校非常勤講師。

鈴木 美紀子 ソプラノ

ベルギー王立リエージュ音楽院に留学。歌曲科とオラトリオ科を修了。在学中からヨーロッパ、アメリカの音楽祭、録音に参加。《バッハ・コレギウム・ジャパン》《アンサンブル・エクレジヤ》の海外・国内公演。CD録音に多数参加。フランス宮廷歌曲と古謡のプログラムのソロCD「美しいフランスの歌」、「美しい人は愛の庭に」(バルドン)を発表。ラモー「プラテ」 「ピグマリオン」などパロクオペラ、オラトリオや宗教曲の分野でもその魅力を発揮している。



永松 圭子 アルト

京都市立芸術大学大学院修了。主に宗教曲、教会音楽のソリストとして活躍。ドイツリートや日本歌曲、童謡、唱歌のコンサートやリサイタルも精力的に行なっている。92年京都音楽協会賞受賞。94年第10回新・波の会日本歌曲コンクール第2位受賞。日本歌曲関西波の会、日本歌曲協会、日本ドイツリート協会会員。大阪芸術大学客員教授、同志社女子大学嘱託講師、京都女子大学、華頂短期大学、京都市立京都堀川音楽高校非常勤講師。



谷 川 洋介 テノール

1998年以来、鈴木雅明主宰のバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)の主要メンバーとして国内外の演奏会やCD録音に参加している。1999年、BCJ演奏のクラウドディオ・モンテヴェルディ「聖母マリアの夕べの祈り」でソロデビュー。パロクから古典派のレパートリーを中心に活躍中。J.S. バッハの諸受難曲におけるエヴァンゲリスト、モーツァルトやベートーベンのミサ曲のソロ等、その歌唱力・表現力は高い評価を得ている。



藤井 大輔 バス

明治大学商学部、東京芸術大学音楽科卒業。バッハ《ミサ曲短調》《マタイ受難曲》《ヨハネ受難曲》、ヘンデル《メサイア》、モーツァルト《レクイエム》、ベートーヴェン《第九》、ロッシーニ《小荘厳ミサ》、メンデルスゾーン《パウルス》《エアース》、フォーレ《レクイエム》などのソリストをつとめる。また、バッハ・コレギウム・ジャパンや、パーセル・プロジェクトにも参加している。



岩本 祐果 ヴァイオリン

福井県小浜市出身。桐朋女子高校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業。これまでにヴァイオリンを玉井洋子、鷲見健彰の各氏に、室内楽を徳永二男、北本秀樹の各氏に師事する。福井県音楽コンクール知事賞受賞。2012年MAF管弦楽団とチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲を共演。2010年～2019年京都フィルハーモニー室内合奏団ヴァイオリン奏者。現在はフリーのヴァイオリン奏者として様々な演奏会に出演している。



高野 ちか子 ヴィオラ

ヴァイオリンを松永みどり、田辺良子、木村和代各氏に、ヴィオラを平田泰彦、ジャン＝フィリップ・ヴァッサール、ブルーノ・バスキエ各氏に師事。古楽から現代までジャンルを問わずリサイタルや室内楽等精力的に活動。テレマン室内管弦楽団を経てウインドカンチエー、瀬戸フィルハーモニー交響楽団コアメンバー、ドラママーである夫の高野正明のCD制作にも参加。現在CDは売り切れ中。練習すると何故か外で鳥が囀り、散歩中の犬は遠吠えするという音色を合わせ持つ。



パブロ・エスカンデ オルガン

ブエノスアイレスの音楽院でディプロマを取得。オランダで通奏低音などをJ. オッホに、作曲をR. レイナに師事。委嘱作品は国際的なアーティストにより世界各国で演奏されている。2008アメリカ・アリエノール作曲コンクール名誉賞。2016イタリア・ノヴァーラ映画音楽作曲コンクール最もオリジナリティのある作曲家賞。TRINAC2017最優秀賞。日本テレマン協会ミュージックアドバイザー、テレマン室内合唱団指揮者、京都女子大学非常勤講師。



全席指定 アルティメイト会員は各500円引き ※未就学児入場不可
 [一般] 前売 4,000円 当日 4,500円 [学生] 前売 2,500円 当日 3,000円

チケット取扱い

京都府立府民ホール“アルティ” 075-441-1414
 京都府立文化芸術会館 075-222-1046
 ローソンチケットWEB (Lコード: 516885) <https://l-tike.com>
 ミンネ・ザング (9～17時/平日のみ) 080-9822-9205

チケット発売日

会員先行 7/12 日 10:00～
 一般発売 7/18 土 10:00～

【お問い合わせ】
 京都府立府民ホール“アルティ”
 075-441-1414 (9～18時/第1・第3月曜休館)

